

吉野ヶ里こども園の教育・保育とは！？

—入園進級の4月、出会いの保育、育児担当制—

園長 山崎立哉

令和3年度は、新入園児34名在園児94名合計128名の子どもたちの元気な声で始まります。

本園では、毎月この「大樹」のおたよりを保護者の皆様へお届けし、本園の教育・保育の内容や園児の誕生日、行事、給食メニュー、お知らせお願い等をお伝えしています。これからぜひお読みいただきますようお願い申し上げます。

入園進級のこの4月、特に0，1，2歳児の新入園児の子どもたちは、こども園という新しい環境に興味津々で、いろんなことをしたいという欲求があると思います。しかし、それは親が傍にいるからこそで、一端親の傍を離れると不安になって「ギャー！」と泣き出し一目散に親の元へもどります。子どもたちは親がいつも傍にいてくれるという安心感があってはじめていろんなことをしようします。出会いの保育は、担当の保育者がこども園でのお母さんになることを子どもに伝え、これから始まるこども園生活を安心して過ごし、遊べるようにしていきます。

また、こども園には24名の沢山の保育者がいますが、全員が子どものお世話をするわけではありません。親に代わる保育者が1年を通してお世話をすることで、子どもが保育者を信頼して安心して過ごし、遊べるようになります。それを実現するのが育児担当制です。同じ保育者が衣服の着脱、食事、排泄、午睡等全てのお世話を毎日のこども園生活でしていくことで、子どもは保育者を「こども園のお母さん」として信頼していくのです。

これから皆様のお子様が、この吉野ヶ里こども園に通うこととなりますが、私たち保育者はこの観点から、まず子どもたちと保育者が信頼関係を作り、安心して保育者とお友達と一緒に楽しく遊ぶことができ、子どもたちがいろんなことに興味・関心を持ち、体験できるように環境を工夫していきたいと考えています。

保護者の皆様にも、吉野ヶ里こども園の教育・保育にご理解ご協力いただき、保護者と保育者が一致協力して子どもたちをしっかりと育てていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。